

教育研究評議会（第232回）議事要旨

I. 日 時 2023年（令和5年）4月25日（火）13:00～14:10

II. 場 所 ハイフレックス形式（中会議室とZoom）

III. 出席者：林学長、大谷理事・事務局長、青山理事、成瀬理事、篠原副学長、中山副学長・附属図書館長、春名副学長、菊池副学長、鈴木（義）大学院総合国際学研究所長・研究院長、川村大学院国際日本学研究院長・国際日本学部長、三宅言語文化学部長、千葉国際社会学部長、近藤アジア・アフリカ言語文化研所長、青山（弘）大学院総合国際学研究所副研究院長、伊集院大学院国際日本学研究所副研究院長、久野言語文化学部副学部長、加藤国際社会学部副学部長、友常国際日本学部副学部長、塩原アジア・アフリカ言語文化研究所副所長
（合計19名）

陪席者：渡部監事、桑原監事、他

IV. 資 料

1. 教育研究評議会（第231回）議事要旨（案）
2. 教育研究評議会評議員名簿
3. 国立大学法人東京外国語大学学長選考・監察会議委員名簿
4. 2023年度年次計画（案）
5. 国立大学法人東京外国語大学教育情報化支援センター規程新旧対照表（案）
6. 国立大学法人東京外国語大学不正行為防止計画実施計画（2023.4～）（案）
7. 大学間等国際学術交流協定の新規締結・更新等について
8. 国立大学法人東京外国語大学と山形市の相互協力協定書（案）
9. 公募要領（日本経済史）等
10. 公募要領（日本語教育学）等
11. Call for Applications: Postdoctoral Teaching Fellow
12. 国立大学法人東京外国語大学経営協議会委員会名簿
13. 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果
14. 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定について

○第231回の教育研究評議会の議事内容について、資料1により、確認した。

○教育研究評議会評議員名簿について、資料2により、確認した。

IV. 議 題

<審議事項>

1. 学長選考・監察会議委員の選出について

大谷理事・事務局長から、資料3に基づき、学長選考・監察会議委員の選出について説明があり、審議の結果、これを承認した。

2. 2023年度年次計画（案）について

林学長から、資料4に基づき、2023年度年次計画（案）について説明があり、審議の結果、これを承認した。

3. 教育情報化支援センター規程の改正について

篠原副学長から、資料5に基づき、教育情報化支援センター規程の改正について説明があり、審議の結果、これを承認した。

4. 研究活動に関わる不正行為防止計画実施計画の策定について

中山副学長から、資料6に基づき、研究活動に関わる不正行為防止計画実施計画の策定について説明があり、審議の結果、これを承認した。

5. 大学間等国際学術交流協定の新規締結・更新等について

春名副学長から、資料7に基づき、大学間等国際学術交流協定の新規締結・更新等について説明があり、審議の結果、これを承認した。

【新規】

1. ヤウンデ第一大学（カメルーン） / 包括協定、学生交流覚書
2. 世界経済外交大学（ウズベキスタン） / 包括協定、学生交流覚書
3. コメンスキー大学（スロバキア） / Erasmus+（教員派遣）
4. ポルト大学（ポルトガル） / Erasmus+（学生受入・派遣、教員受入・派遣）

【更新】

5. リスボン大学（ポルトガル） / 学生交流覚書
6. 国際文化研究所（ポーランド） / 包括協定
7. ソティム・ウルグゾーダ記念・タジキスタン外国語国際大学（タジキスタン）（旧タジク国立言語大学）
8. 西安外国語大学（中国） / 包括協定、学生交流覚書
9. トリノ大学（イタリア） / 包括協定、学生交流覚書
10. 東北師範大学（中国） / 包括協定、学生交流覚書
11. 東国大学（韓国） / 包括協定、学生交流覚書

【終了】

12. ジンバブウェ大学（ジンバブエ） / 包括協定、学生交流覚書

6. 山形市との連携協定について

成瀬理事から、資料8に基づき、山形市との連携協定について説明があり、審議の結果、これを承認した。

第2条第1号及び第2号の記載については、山形市からの強い要望があったとの補足説明があった。

7. 教員採用（日本経済史）について

川村研究院長から、資料9に基づき、日本経済史の教員採用について説明があり、審議の結果、これを承認した。

8. 教員採用（日本語教育学）について

川村研究院長から、資料10に基づき、日本語教育学の教員採用について説明があり、審議の結果、これを承認した。

9. 教員採用（旧 CAAS ユニット後継）について

川村研究院長から、資料11に基づき、Postdoctoral Teaching Fellowの教員採用について以下の説明があった。

本件はCAAS Unitの後継人事で、従来CAAS コンソーシアム加盟校からの応募に限っていたが、自走化に伴い本学と交流協定を締結している大学にも応募範囲を広げている。

なお、募集要項について、以下の指摘があり、公募の内容に即した表現とすることでこれを承認した。

[指摘事項]

4. Research field(s)

Japan-related research, especially about Japanese society, history, and culture
文学、文化、歴史、社会に限定したいので、それが分かるような書き方に修正する。

5. Qualifications

(3) ~略~In addition, applicants must have advanced research achievements in their teaching area and have the potential to publish the results of their research in the future.

2年間の任期の間に研究を行い、それを元に将来の出版につなげるという意味合いの英文に修正する。

10. その他

特になし

<報告事項>

1. 経営協議会委員の選出について

林学長から、資料12に基づき、経営協議会委員会のメンバーについて報告があった。

2. 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について

青山理事から、資料13に基づき、第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について報告があった。

なお、改善を要する点としては、以下の4点が指摘されている旨、補足説明があった。

- ・共同論文指導体制（コチュテル）による学位取得の目標人数（中期計画1-1-2-21）
「隔年に1名程度輩出」が未達成
- ・外国人教員等の割合（中期計画15-4）
[目標]平成33年度までに90%以上に増加 [現状]令和3年度現在77.2%
- ・科学研究費補助金の教員の応募率（中期計画19-1）
[目標]90%に近づける [現状]令和3年度実績78.4%
- ・建学150周年基金の募金目標額（中期計画19-2）
「平成33年度末までに5億円」が未達成

3. 意欲的な評価指標の指定について

谷口評価企画係長から、資料14に基づき、意欲的な評価指標の指定について報告があった。

なお、本学からは1件が指定されている旨、補足説明があった。

4. その他

特になし

以上